くまもとＳＤＧｓ
牽引部門

熊本農業高校　養豚プロジェクト

養豚業におけるゼロへミッションへの挑戦

【取組み内容】

- 食品廃棄物のみで豚を育てる技術を確立した。
- 食品企業と畜産農家の仲介を行い、廃棄物の処分費や飼料費を削減することで利益向上に貢献した。
- 整形時に廃棄される豚脂を有効活用した環境に負荷が少ない洗濯用石鹸を開発した。
- 豚脂を抽出する際に出る抽出粕を養鶏用飼料として活用した。
- これらの技術を用いて発展途上国への技術発信を行っている。

評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント	
普遍性	廃棄物を有効活用した取り組みのモデルとなり、全国へ普及を行うことで持続可能な社会を形成する。
包摂性	畜産農家、食品企業、精肉店、福祉施設など多岐に渡り、所得向上に繋げ、食育活動を通して「誰一人取り残さない」理念を体現。
協働性	食品企業、畜産農家、行政機関、教育機関、専門家、組合、国際協力機構、福祉施設など多くの機関と協力し取り組みを行っている。
統合性	廃棄物を活用することにより、経済的余裕が生まれ、環境にも配慮した取り組みとなっている。販売・食育活動を通して意識改革も行っている。
透明性	ＰＤＣＡサイクルを常に回し、専門家からの評価やコンテストに応募することで様々な方からのアドバイスを頂き、よりよい活動に繋げている。

貢献するＳＤＧｓのゴール